

12月28日(土)から  
1月5日(日)まで休み  
※ただし、戸籍に関する届出書は  
本庁舎1階受付でお預かりします  
1月6日(月)から平常どおり

# 伝言板

香南市の取り組みや事業を  
紹介するコーナーです



## 第124回高知県市長会議開催

10月18日(金) 総務課 ☎57-8500  
県内の市長が一堂に会し、県への要望議案を審議する高知県市長会議が香南市内で行われました。会議では、香南市から提出の南海地震対策や海岸堤防の整備、療育福祉センターの開設についての3議案を含め、各市から提出された28議案を7項目に集約。集約された議案は、要望書にまとめ県へ提出される予定です。



## 内閣府特命担当大臣香南市視察

11月2日(土) 防災対策課 ☎57-8501  
南海トラフ巨大地震への防災の取り組みを把握するため、古屋圭司内閣府特命担当大臣が香南市を訪れ、清藤真司市長が津波浸水区域と津波避難タワーの建設予定位置などの説明を三宝山で行いました。

その後、古屋大臣は高台移転を予定している介護老人保健施設の視察を行い、施設関係者と意見を交わしました。



## 親子で学ぶ、環境教育

11月18日(月) 環境対策課 ☎57-8508  
ごみの分別の必要性を理解し、日々の生活で実践してもらうため、野市幼稚園年長クラスの園児と保護者を対象に開催された環境教育へ職員を派遣。講師となり、なぜごみを分別しないといけないのか、リサイクルしたら何に生まれ変わるのか、分別の方法などを実際に体験しながら学習しました。クイズを盛り込み、園児たちは楽しみながら分別について理解していました。環境学習講師の派遣については環境対策課までご相談ください。



## まちづくりグランドデザイン進捗状況

財政課 ☎57-8502  
香南市全体のまちづくり方針を総合的・体系的に示していくまちづくりグランドデザイン。

11月1日に開催した第2回策定委員会では、香南市全体の土地利用を考えるうえで、重要である地域特性や沿岸地域のまちづくりなどについて意見交換を行いました。

自然特性・産業基盤・都市基盤・生活基盤の4つに分類した地域特性の図面を基に、現況を確認しながら、「中山間地域の過疎化」や「一次産業の担い手不足」などの問題点を洗い出しています。

また、人口減少や高齢化が進行し、建物の老朽化等が進んでいる津波浸水予想区域においては、グランドデザイン全体の中で「沿岸地域のまちづくり」として位置づけ、長期的に対策等を考えていく「災害・防災に強いまちづくり」の検討を進めていくことを確認しました。

第3回策定委員会は12月20日午後、市役所本庁舎にて開催予定です。

## 寄付を通じて地域へ貢献

香南市商工会青年部 地域貢献活動  
10月22日(火) 香南市商工会青年部が、田園祭や絵金祭りなどのイベントによる収益で書籍を購入し、香南市内の小学校8校へ寄贈しました。この活動は今年で5年目となり、子どもたちの教育に関する寄付活動として定着してきました。また、今年新たに赤岡絵金屏風絵保存会へ修復費用の寄付も行いました。「これからも商工会青年部は、地域密着型の活動を続けていきたい」と部を代表して畠中拓馬部長から決意が述べられました。



▲8校を代表して野市小学校へで行われた贈呈式

## 黒潮の子ども応援隊「みまもりの家」ステッカー

これからも私たちを見守ってください!  
11月1日(金) 赤岡小学校4年生が、赤岡町内の子どもたちを支える住民応援隊「黒潮の子ども応援隊」のメンバーと一緒に、通学時などの子どもたちを守る「みまもりの家」になってもらえるよう、商店などを数班に分かれてお願いして回りました。

児童自らが趣旨を説明し、「みまもりの家」の証としてステッカーを貼ってもらいました。地域ぐるみで子どもたちを守り育てる。このステッカーにはそんな思いも込められています。



▲お願いに少し緊張、でもまちのみんなは快く貼ってくれたよ!

## 動 県立のいち動物公園開園22周年記念イベント

物園に行こう!!  
11月2日(土)～4日(月) 県立のいち動物公園で開園22周年のイベントが開催され、多くの家族連れが訪れました。入口ゲートをくぐると前の広場では地場産品を使用したグルメ屋台がお出迎え。園内では景品がもらえるスタンプラリーや、バードショーなどが催されました。また、スタッフから「22年前に手探り状態で始まった動物公園が、今はこのような素晴らしい場所になりました」と開園当初の話も紹介され、来園者はより良くなった動物公園を満喫していました。



▲バードショーで観客の頭上を滑空するハリスホーク

## 秋 第12回ヤ・シの秋まつり開催

の海辺は大にぎわい  
11月17日(日) ヤ・シパークで毎年恒例の「ヤ・シの秋まつり」が開催されました。名物となっているトラックいっばいに積まれた大根の即売は「安い!」と大勢の来場者が買い求めていました。芝生広場にはテントが並び、海辺の旨いもの「sea級グルメ」をはじめ、昔遊びや木工クラフトの体験などが行われました。また、ステージイベントや砂浜での宝さがしも人気。



▲山積みの大根がみるみるうちに売れていきました。

秋の海辺は一日中にぎやかな雰囲気にも包まれていました。